授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
人間関係論Ⅰ (コミュニケーション)	1年次	前期	1	30	有

科目責任者	佐藤　俊一
授業概要	人間関係の問題を、私たちの社会生活、さらには看護専門職にとって必要なすべての人とのかかわりの基本となるものとして理解できるようにする。また、看護ケアの実践は、看護師と患者や家族、関係する他職種など、お互いの個別性を尊重し大切にすることと、看護者が自分を大切にすることを学ぶ。
目標	知識や技術として人間関係について学ぶではなく、受講者一人ひとりが、自分自身の人間関係の課題を明らかにできるようにする。さらに、明らかになった課題が、日常の人間関係や臨地実習に結び付けられることを目指し、単なるよい人間関係を作り維持するのではなく、自分が出会う相手を、そして自分を大切にする行動ができるようになる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	1.人間関係学で学ぶこと−何を、どのように学ぶのか (1)受講のためのオリエンテーション (2)人間関係学の授業では何を、どのように学ぶのか (3)自分の課題を明らかにする学び−学び方の学習から始めよう	佐藤	講義
2	2.現代社会と人間関係−自分の気持ちを表せない現代人と集団 (1)時間とともにという視点からの個人とグループの関係 (2)個人と社会の根元的な関係。 (3)集団のなかでの行動の抵抗と可能性について	佐藤	講義
3	3.集団とのかかわりからの関係性の発見−維持するから壊して生みだす集団へ (1)人間関係は〈つながり〉と〈ちがい〉で成り立っている (2)よい人間関係における〈つながり〉の重視 (3)「関係性」の理解と発見	佐藤	講義
4	4.個人と集団の健康な関係−開かれた全体性 (1)ライフサイクルにおける個人と集団との関係の理解 (2)開かれた全体性における個人と集団の健康な関係 (3)グループになることの理解	佐藤	講義
5	5.これまでの学びの確認 (1)これまでの学びを基に自分の人間関係を振り返る (2)そこで明らかになった課題とは (3)各自が明らかにしたことをグループで話し合い、共有する※話し合いの成果シート作成	佐藤	演習
6	6.文化と価値と科学の発想 (1)価値観のちがいがお互いの理解にもたらすこと (2)私たちが西欧の文化を見るときのスタンス (3)科学の発想と文化 ※授業内レポート試験	佐藤	講義
7	7.人間関係学の発想 (1)あたりまえのことを問うことの大切さと難しさ (2)日常性と専門性との関係 (3)「未知」への問いと「既知」への問い	佐藤	講義
8	8.科学の知を問いかける人間関係学 (1)臨床の知について…科学の知が重視された背景 (2)主観と客観の関係 (3)生きられる身体	佐藤	講義
9	9.臨床の知としての人間関係学(1)※グループワーク (1)基礎の学びが、なぜ大切なのか (2)態度としての臨床…「ともにいること」の大切さ (3)対人援助の専門職に必要な基本的な態度 ※学びの発見シートの作成	佐藤	講義・演習
10	10.臨床の知としての人間関係学(2) (1)ことばにすることでの理解 (2)理論と実践の関係への問い…実践に求められる態度とは (3)体験の概念化…素人の発想の必要性 ※学びの発見シートに対する全体的なコメントを行う	佐藤	講義
11	11.人間関係学から見た病気や障がいの問題(DVD視聴) (1)関係性としての障がい (2)社会的障壁(バリア)と人間関係 (3)病気や障がいと生の統合化	佐藤	講義・演習
12	12.相手との関係から生まれるコミュニケーション (1)話せない人と聴くこと…聴くと、話すは、一つのこと (2)見ることから始まる聴くこと…見える・聴けるへ (3)ことばは話す人を表している	佐藤	講義
13	13.人間関係におけることば (1)ことば遣いと、ことばの音・表情とのちがい (2)沈黙からことばが生まれる (3)聴くことの力を身につける	佐藤	講義・演習
14	14.問われる存在としての人間 (1)お互いがかけがえのない人になる (2)ゆさぶられ、問われる体験と援助 (3)問われるなかで発見できる価値と関係性 (4)問われることに応えるという自己実現 ※課題レポートの提示	佐藤	講義
15	15.授業の振り返りとまとめ (1)お互いを大切にする関係…関係性を基盤とした人間関係の理解 (2)人生の一回性と個々の独自性…不完全さに対する態度 (3)傾聴から対話的関係へ (4)真の実践力とは…人にかかわる力を身につける	佐藤	講義

履修条件	なし
テキスト	佐藤　俊一『対人援助グループからの発見ー「与える」から「受けとめる」力の援助へ』 中央法規出版
参考書	必要に応じて授業時に紹介する
評価方法・基準	2回行うレポート試験で70点、毎回の提出課題を30点として評価を行う。